

## 〔令和 5 年度事業報告〕

### 堺市博物館事業のとりくみ

- ・堺市基本計画 2025 施策との関連 戦略：堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～  
 施策：類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進  
 取組の方向性：堺の歴史・文化資源を活用した滞在、消費拡大促進  
 寄与する KPI 指標名：大仙公園エリアへの来訪者数  
 現状値：29.4 万人(2019 年度) 目標値：60.0 万人(2025 年度)
- ・堺市 SDGs 未来都市計画 施策との関連 ゴール：働きがいも経済成長も  
 取組：茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信  
 (※KPI：Key Performance Indicator 重要業績評価指標)

## ■ 博物館管理事業

### 1 事業の目的

博物館（堺市茶室含む）及びみはら歴史博物館（指定管理）を安全で快適な施設として、市民や来館者を受け入れられるよう、施設の運営及び維持管理を適正に実施する。

### 2 事業内容

- 受付、警備、清掃、設備運転監視など各種委託業務の履行を監督し、適切な館の維持、管理、運営を行った。
- 博物館の施設・設備の不具合を解消するため、必要な修繕工事を行い、安全・安心な環境を整えた。
  - ・博物館中庭側展示室平屋根改修工事  
 堺市博物館の中庭側展示室屋根が、老朽化により損傷がひどく、雨漏りが頻繁に発生している状況であったため、改修工事を行った。
  - ・博物館空気調和設備改修工事設計業務

### 1 設備他修繕等工事

展示棟に関する工事（大規模工事のみ抜粋）

- (1) 堺市博物館壁面展示ケース内（I 字ケース、7m ケース）照明の LED 化工事
- (2) 博物館中庭側展示室平屋根改修工事
- (3) 堺市博物館壁面展示ケースクロス貼り替え工事
- (4) 堺市博物館グッズ販売コーナー什器製作設置工事

空調関係工事

- (5) RH-1 ガス吸収式冷温水発生機コントロールモーター取替調整作業
- (6) 博物館ロビー系統空調（AC12）冷水管バイメタル式温度計取替修繕

## ■ 展示事業

### 1 事業の目的

堺の通史を示す常設展示や特定のテーマによる企画展・スポット展示等を通して、市民及び来訪者に堺市の歴史・文化を紹介することで、都市魅力の創出を図る。また、魅力的な企画展等を開催することで堺への集客促進や来館者増に寄与することを目的とする。

### 2 事業内容

令和5年度は以下の特別展・企画展を実施した。これらの展覧会に付随する学芸講座やワークショップなどの関連事業もあわせて実施した。

堺市博物館での展示 ※次年度重複期間開催分も含む

展示名称	会 期	趣 旨	観覧者数・(来館者数) <観覧者数/日> いずれも単位は人
企画展 みはらの古代集落探索！	4月18日(火) ～6月18日(日)	美原区「ららぽーと堺」建設前 発掘調査成果展 古代の美原区遺跡を紹介	12,585 (22,439) <229>
企画展 親子でたのしむミュージア ムーきて、みて、アートの	7月1日(土) ～8月20日(日)	選りすぐりの所蔵美術品を 親子でたのしむ美術展	7,980 (16,263) <177>
企画展 河口慧海 仏教探究の旅 ーチベットで求めたものー	9月2日(土) ～10月15日(日)	堺出身の僧侶・河口慧海が第 一回チベット旅行から帰国 して120年記念展示	7,621 (16,171) <191>
無形文化遺産シリーズ展 アジアの伝統的織物 ー中国・韓国・日本を中心にー	9月5日(火) ～10月1日(日)	中国・韓国・日本における無 形文化遺産に登録された織 物について紹介	企画展と重複するため省略 (常設展示場内)
特別展 都市の祈りー住吉祭と堺ー	11月3日(金・祝) ～12月17日(日)	日本初公開のサンフランシス コ・アジア美術館所蔵の住吉 祭礼図屏風と当館所蔵の住吉 祭礼図屏風を通して、住吉祭 の歴史や屏風中の祭り見物を 楽しんでいただく	10,531 (19,653) <270>
企画展 堺のくらしと風景	令和6年 1月6日(土) ～3月10日(日)	明治時代頃から現代まで、 暮らしで使われる道具の変化 や当時の出来事などを紹介	10,613 (18,502) <183>
堺環濠都市遺跡(SKT) 土層剥ぎ取り	3月11日(月) ～	堺環濠都市遺跡発掘調査地点 における良好な保存状態の土 層の剥ぎ取りパネルを展示	企画展と重複するため省略 (常設展示場出口壁面)

スポット展示 須恵器工人の奮闘記 —陶邑窯跡群より—	1月6日(土) ～3月24日(日)	JR 西日本ちよこつと関西歴史 たび協力展示。当時の須恵器 工人による古墳時代のものづ くりを解説するストーリー仕 立てで展示	企画展と重複するため省略 (常設展示場内)
特別出品 廣國神社の蔵王権現立像	1月6日(土) ～5月12日(日)	明治時代の神仏分離時に民間 に引き取られていたが、再び 廣國神社(美原区)にお祀りさ れるのを記念しての展示	企画展と重複するため省略 (常設展示場内)
企画展 芝辻理右衛門家文書と 堺の鉄炮鍛冶	3月16日(土) ～6月9日(日)	江戸時代の鉄炮づくりに関す る貴重な古文書を展示。鉄炮 鍛冶仲間の代表者をつとめて きた役割の全体像を紹介	16,756 (33,675) <220>

## さかい利晶の杜学芸グループによる展示

展示名称	会 期	趣 旨	観覧者数・(来館者数) <観覧者数/日> いずれも単位は人
企画展 関東大震災100年 災害を乗 り越える晶子の意志	5月20日(土) ～6月11日(日)	関東大震災で完成寸前の『源 氏物語』現代語訳を失った晶 子がどのように危機を乗り越 えたかに迫る展示	3,671 (11,647) <126>
企画展 堺茶の湯ワールド —堺環濠都市遺跡から出土 した逸品—	9月16日(土)～ 10月22日(日)	文化財課と共催。大坂夏の陣 で被災した町跡からの出土品 を中心に、当時の「茶の湯」を 紹介	3,124 (23,101) <89>
企画展 生誕150年 与謝野鉄幹	11月18日(土) ～令和6年 1月14日(日)	生誕150年の節目に、与謝野 鉄幹の知られざる業績を紹 介	6,724 (30,518) <134>

## ■ 資料収集保存事業

### 1 事業の目的

堺市の歴史文化を物語る貴重な資料を保存継承し、広く発信するため、当市が所蔵する資料について、調査や修復を実施するほか、ICT を活用した公開に取り組む。

### 2 事業内容

○堺市に関する資料の調査を行い、所蔵者からの寄贈・寄託を受け入れて新たな資料を収蔵した。

○収蔵資料を適切な文化財空調のもとで保存できるようにし、必要に応じて修理した。また、修理した資料を研究したうえで、展示等で公開するなど活用した。

- ・堺市博物館 館蔵資料修理業務
- ・大塚山古墳基礎整理等業務 等

### 1 新収蔵資料（購入）

令和5年度は資料購入なし。

### 2 新収蔵資料（寄贈）

- (1) 洛中洛外図帖 狩野派 2帖 (24枚) 室町時代 (16世紀)  
小画面の洛中洛外図。公武の邸宅、寺社、町筋や橋、祭礼などが描かれる。
- (2) 和歌浦図屏風 6曲1双 江戸時代 (17世紀)  
和歌浦が南西の海側から眺める形で、一双に描かれる。
- (3) 源氏物語図色紙貼交屏風 土佐派 6曲1双 (絵36枚、詞書36枚) 江戸時代 (17世紀)  
源氏物語のうち、36帖分に対応する絵と詞書の色紙が金地屏風に貼付される。
- (4) 源氏物語図色紙 54枚 江戸時代 (17世紀)  
源氏物語54帖から、54の場面が水墨を基調とした素朴な筆致で描かれる。
- (5) 扇面画帖 1帖 (20面) 室町時代後期～江戸時代中期 (16～18世紀)  
故事人物図、花鳥図、物語絵などの扇面画20面を集めた画帖。
- (6) 大正から昭和初期のSPレコード14枚  
78回転レコード盤。国内生産後まもなく作られた片面盤、大阪で短期間に限り生産されたものを含み、戦前のSPレコードの多様さがうかがえる。
- (7) 明治から昭和中期の硬貨320枚
- (8) 湊焼等資料336件 明治～昭和時代 湊焼・堺焼を中心とした堺の陶芸等郷土資料  
平成22年度以降に寄託を受けていた資料のうち21件を除いて寄贈を受けた。
- (9) 堺酢谷家生薬処方簿等関係資料一括 1件 (50点) 明治6 (1873) 年～18 (1885) 年  
「一服散」の処方薬で知られた堺区南旅籠町西1丁の酢谷医院に伝来した50点の医療関係の近代文書である。
- (10) 火鉢ほか民具資料等 92点
- (11) 杵・臼ほか戦前・戦中の生活道具16点
- (12) 御陵印集印軸 1幅  
戦中～戦後に堺市在住の個人が歴代天皇御陵印93点を集印し、印譜を軸装に仕立てたもの。

- (13) 堺半井家資料 284 件 (1007 点) 近世～近代  
室町時代に京都から堺へ赴いた宮廷医学の名門半井利長家の近世から近代にかけての資料群である。
- (14) 和泉国四郡諸村 <sup>むらだかかきあげ</sup> 村高書上 手控帳 1 冊  
江戸時代の和泉国内の各村の村高を書き上げた携帯用の横半帳
- (15) 仁徳天皇陵関連資料 書籍・地図・絵葉書 24 件 (30 点)
- (16) 松林桂月旧蔵・河口慧海資料 6 件 (25 点)  
河口慧海とその支援者(松林桂月)との関係を示す資料群として貴重。
- (17) 堺米会所鑑札 1 枚 江戸時代 享保 18 (1733) 年  
堺に米会所(米相場所)が設置をされた際に、少林寺町浜の久武兵衛に下付された鑑札である。

### 3 新収蔵資料(寄託)

- (1) 千宗安書状 塩穴寺宛 (年未詳) 七月六日 1 幅 江戸時代 (17～18 世紀)  
裏千家 5 世常叟宗安 (1673～1704) が塩穴寺に宛てた礼状。

### 4 館外貸出(※特に明記しない資料はすべて館蔵)

- (1) 「聚楽第行幸図屏風」2 曲 1 双「洛中洛外図屏風」6 曲 1 双  
三井記念美術館 NHK 大河ドラマ特別展「どうする家康」4 月 15 日～6 月 11 日
- (2) 「仁徳天皇陵古墳出土ガラス容器(複製品)」1 点、大阪府教委から借用中の須恵器 3 点(大阪府指定有形文化財) 兵庫県立考古博物館「古墳時代の技術革新」4 月 22 日～7 月 2 日
- (3) 長山孔寅「扇面画帖」1 冊  
吹田市立博物館特別展「大坂好みを描く 呉春から孔寅・芳園へ」10 月 14 日～11 月 26 日
- (4) 「大和川筋図巻」1 巻  
大阪府立狭山池博物館特別展「新大和川と石川の治水絵図ー若狭野浅野家の流域図を見るー」  
10 月 14 日～12 月 3 日
- (5) 「星曼荼羅図」(大阪府指定有形文化財)(寄託) 1 幅  
彦根城博物館「仰ぎて天文を見るー江戸時代の天文学・暦学・星占いー」7 月 28 日～8 月 29 日
- (6) 「安宅冬康書状」(年未詳 3 月 20 日付、重伊入) 1 幅、「三好義長(義興) 書状」(永禄 5 年 3 月 16 日、吉成信長宛)(寄託) 1 幅、「三好実休画像」(寄託) 1 幅、「三好実休画像(複製)」(寄託) 1 幅、日珥筆「己行記」(堺市指定有形文化財)(寄託) 1 冊  
徳島市立徳島城博物館特別展「阿波戦国絵巻」10 月 14 日～11 月 26 日
- (7) 土佐派「源氏物語図屏風」(堺市指定有形文化財)(寄託) 6 曲 1 双、「源氏物語図色紙」9 枚、  
東京富士美術館特別展「源氏物語 THE TALE OF GENJI」令和 6 年 2 月 24 日～3 月 24 日
- (8) 「聖徳太子絵伝」第 3 幅(寄託) 1 幅  
龍谷大学 龍谷ミュージアム 特別展「文明の十字路・バーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰ーガンダーラから日本へー」令和 6 年 4 月 20 日～6 月 16 日
- (9) 「浜寺昭和町出土銅鐸」(重要美術品) 1 点  
大阪府立弥生文化博物館冬季特別展「紀元一世紀の社会変革ー弥生後期のはじまりをさぐるー」  
令和 6 年 1 月 20 日～3 月 17 日
- (10) 「熱海鳥瞰図」「京阪電車御案内」、『大正広重物語』3 点

堺 アルフォンス・ミュシャ館企画展「ミュシャとバリの画塾」12月2日～令和6年3月31日

## 5 特別利用（画像貸出）

特別利用許可申請（有料）	：69件
庁内利用（無料）	：21件
HP掲載画像の利用（無料）	：78件

## 6 データベース

早稲田システム開発株式会社が運用するクラウド型収藏品データベース（I.B.ミュージアム SaaS）を使用し、収藏品管理を行っている。当館ホームページに「堺市博物館収藏品データベース」、「さかい利晶の杜収藏品データベース」の検索システム URL を掲示しており、収藏品にアクセスしていただけるように公開している。堺市博物館 4281 点、さかい利晶の杜 1809 点（令和6年6月4日現在）掲載。令和4（2022）年1月1日運用開始。

## 7 資料整理事業

- (1) 令和2年度より、大塚山古墳出土品基礎整理として、当館収蔵の出土品約160箱の種類・数量・状態の把握、また緊急性のある資料の保存処理を（公財）元興寺文化財研究所へ委託実施している。鉄製品は他に類例がないほど大量で、報告作業を同時に進め、将来は重要文化財指定をめざす。  
令和5年度には、基礎整理を継続するとともに、鉄鏃112点（個体数242点）の実測図作成・写真撮影・X線写真撮影等を実施。
- (2) 堺半井家資料整理 284件（1007点）寄贈を受けた同資料の整理目録化作業
- (3) 堺酢谷家生薬処方簿等関係資料一括 1件（50点）寄贈を受けた同資料の整理目録化作業  
『研究報告』43号（令和6年3月）で目録公開
- (3) 河口慧海関連寄託資料 約1000点 高野山大学名誉教授奥山直司氏が代表を務める科学研究費助成金によりデジタルデータ化を進め、目録の細分化もおこなっている。

## 8 保存修理事業

- ・「行基菩薩像」（和泉国日根郡「行基講」関連資料のうち）1幅（室町時代）の保存処理をおこなった。  
令和2年度に寄贈された和泉国日根郡「行基講」関連資料（掛軸類、仏具類、染織類、典籍類）32件38点のうちの1点。

## 9 IPM・資料燻蒸

- (1) 生物調査（トラップ回収による徘徊虫のモニタリング） 年間11回 48箇所  
毎月モニタリングトラップを業者が回収・報告提出あり
- (2) 燻蒸
  - ・ブンガノン（殺虫、展示場・3F収蔵庫）およびライセント（殺カビ、ホール・学習室・ホール機械室）による燻蒸を年1回梅雨前に実施。
  - ・新規受入資料に対しては、テントを設置してエキヒュームS燻蒸を実施（夏季・1週間程度）。令和5年度は資料受入れに伴う要燻蒸資料が多かったため、2回実施。

※その他報告書の内容に応じて、燻蒸やIPM作業を追加実施。

## ■ 普及広報事業

### 1 事業の目的

普及広報事業を実施することで、堺の歴史・文化の発信拠点として堺市博物館の魅力を広報して来館を促し、堺の歴史・文化・伝統を知ってもらうことで、市民の郷土愛の醸成を図ることを目的とする。

### 2 事業内容

#### ○普及事業

- ・歴史史料に興味を持つ方に対し、古文書講習会を実施
- ・小・中学生向けの体験学習会を開催
- ・夏休み期間中に未就学児と小・中学生及び保護者等を対象としたミュージアム・パス&スタンプラリーを実施
- ・博物館ボランティア制度の運営

#### ○広報事業

- ・SNS を用いた PR 活動
- ・企画展ごとに広報関係資料を作成
- ・『堺市博物館研究報告』を作成

## 1 展示関連普及広報事業

### 堺市博物館実施分

#### (1) 令和5年度企画展「みはらの古代集落探索！」 4月18日（火）～6月18日（日）

解説ブックレット・無料配布=948冊（アンケート記入者限定配布）（展示終了後、館内配布。残部130冊）

講演会（講師：永野仁氏・（公財）大阪府文化財センター）5月13日（土）聴講者=50人

展示解説（講師：当館学芸員）5月21日（日）聴講者=20人

講演会（講師：堺市文化財課）6月3日（土）聴講者=33人

#### (2) 企画展「親子でたのしむミュージアム」7月1日（土）～8月20日（日）

※8月15日暴風警報のため臨時休館

展示解説（講師：当館学芸員）7月8日（土）聴講者=6人

和本づくり（講師：工房レストア）7月22日（土）参加者=10組（保護者等含み18人）

ベビーカーツアー（講師：当館学芸員）8月8日（火）参加者=3組（8人）

展示解説（講師：当館学芸員）8月20日（土）聴講者=11（うち小学生3人）人

ワークブック（無料）配布数=1420部、ラッキーくじ（無料）配布数=2030枚

スタンプコーナー 枚数=1334枚、人気投票コーナー（全3006票/1位=洋櫃：612票、2位=大鎧：433票、3位=刀：325票）

#### (3) 企画展「河口慧海 仏教探究の旅」9月2日（土）～10月15日（日）

図録販売数（990円）=377冊 ※10月24日現在

展示品解説（当館学芸員）9月10日（日）、9月16日（土）聴講者=15人、20人

講演会（講師：奥山直司氏・高野山大学名誉教授）9月17日（日）聴講者=163人

学術シンポジウム「河口慧海関係資料のデジタル化と公開に向けて」（学術協力者・奥山直司氏を代表

とする科研グループの主催) 9月24日(日) 聴講者=26人  
 学芸講座(講師:当館学芸員) 10月7日(土) 聴講者=70人

- (4) 特別展「都市の祈りー住吉祭と堺ー」 11月3日(金・祝)～12月17日(日)  
 図録販売数(1990円)=192冊 ※12月17日現在  
 ギャラリートーク(講師:佐々木志保氏・サンフランシスコ・アジア美術館コンサバター) 11月3日(金・祝) 聴講者=35人  
 講演会(講師:吉田豊氏・摂泉堺郷土史研究所所長) 11月18日(土) 聴講者=33人  
 講演会(講師:黒田一充氏・関西大学教授) 11月25日(土) 聴講者=40人  
 住吉大社・堺市博物館合同フォーラム 12月3日(日) 聴講者=137人  
 学芸講座(講師:当館学芸員) 12月10日(日) 聴講者=48人
- (5) 企画展「堺のくらしと風景」 令和6年1月6日(土)～3月10日(日)  
 ポータブル蓄音機コンサート(担当:当館学芸員) 1月13日(土) 参加者=12人  
 展示品解説&道具に触れてみよう(講師:当館学芸員) 1月20日(土) 参加者=11人  
 昔の遊び・道具を体験してみよう(担当:当館教員OB、当館学芸員) 1月21日(日) 参加者=79人  
 ポータブル蓄音機コンサート(担当:当館学芸員) 2月11日(日) 参加者=31人  
 昔の遊び・道具を体験してみよう(担当:当館教員OB、当館学芸員) 2月24日(土) 参加者=150人  
 展示品解説&道具に触れてみよう(講師:当館学芸員) 3月3日(日) 参加者=16人
- (6) スポット展示「須恵器工人の奮闘記ー陶邑窯跡群よりー」 令和6年1月6日(土)～3月24日(日)  
 展示品解説(講師:当館学芸員) 1月27日(土) 聴講者=9人  
 展示品解説&須恵器に触れてみよう(講師:当館学芸員) 2月18日(日) 参加者=18人  
 展示品解説&須恵器に触れてみよう(講師:当館学芸員) 3月17日(日) 参加者=8人
- (7) 企画展「芝辻理右衛門家文書と堺の鉄炮鍛冶」 令和6年3月16日(土)～6月9日(日)  
 図録販売数=153冊(R5:43+R6:110)  
 学芸講座(講師:当館学芸員) 4月7日(日) 聴講者=62人  
 展示品解説(講師:当館学芸員) 4月20日(土) 聴講者=13人  
 展示品解説(講師:当館学芸員) 4月28日(日) 聴講者=5人  
 展示品解説(講師:当館学芸員) 5月18日(土) 聴講者=14人  
 展示品解説(講師:当館学芸員) 6月2日(日) 聴講者=10人

#### さかい利晶の杜学芸グループ実施分

- (1) 企画展「関東大震災100年 災害を乗り越える晶子の意志」 5月20日(土)～6月11日(日)  
 展示品解説(講師:利晶の杜学芸員) 6月4日(日) 聴講者=15人
- (2) 企画展「堺茶の湯ワールドー堺環豪都市遺跡から出土した逸品ー」 9月16日(土)～10月22日(日)  
 学芸講座(講師:文化財課学芸員) 10月8日(日) 聴講者=25人  
 展示品解説(講師:文化財課学芸員) 9月23日(土)・10月21日(土) 聴講者=8人、25人

WS「海から中世の町を眺めてみよう」(担当：利晶の杜学芸員) 9月24日(日) 参加者=48人

(3) 企画展「生誕150年 与謝野鉄幹」11月18日(土)～令和6年1月14日(日)

展示品解説(講師：利晶の杜学芸員) 12月7日(木) 聴講=6人

展示品解説(講師：利晶の杜学芸員) 令和6年1月13日(土) 聴講者=14人

## 2 体験学習会 参加人数(実数集計)

当館教員OB職員が中心となって担当する事業で年間12件実施。夏休みに重点的に配置している。当館で主催分以外にも、外部からの依頼に応じて随時実施している。

(1) 主催体験学習会 12件 17回 参加者総数：児童・生徒526人 保護者499人 合計1,025人

体験学習名	実施日	児童・生徒	保護者	参加者数合計
古代の服を着てみよう	5/5(金・祝)	32	45	77
博物館で学ぼう！古墳について	7/30(日)	5	5	10
ダンボールで仁徳天皇陵古墳を作ろう AB	7/23(日) 8/5(土)	33	31	64
プラバンで古墳キーホルダーを作ろう AB	7/28(金) 8/4(金)	89	68	157
勾玉を作ろう AB	7/29(土)	61	64	125
ハニワを作ろう AB	8/6(日)	40	40	80
厚紙で古代の冑を作ろう	8/11(金・祝)	20	20	40
勾玉ストラップを作ろう	9/16(土)	20	27	47
博物館で体験しよう	10/8(日)	45	41	86
色付き勾玉を作ろう	11/11(土)	20	24	44
しめなわ作り	12/16(土)	31	35	66
昔の道具・遊びを体験しよう AB	令和6年 1/21(日) 2/24(土)	130	99	229

(2) 臨時体験学習会※ 5件 6回 参加者総数：児童・生徒318人 保護者295人 合計 682人

(※外部から依頼を受けたワークショップ。)

主催者	イベント名	体験学習内容	実施日	児童・生徒	保護者 教職員	参加者数 合計
堺市教職員 厚生会	堺市博物館でオリジナル勾玉を作ろう	勾玉作り	9/23(土)	0	10	10
加古郡播磨町	第31回 大中遺跡まつり	しおり作り (大中遺跡公園で)	11/4(土)	239	239	478

関西広域連合	リアル de 伝統文化教室	まが玉作り (お茶と宇治のまち歴史 公園「茶づな」で)	11/19 (日)	40	40	80
堺市教職員 厚生会	百舌鳥古墳群 探検ツアー	古墳巡り	12/2 (土)	0	10	10
堺観光コンベンション協会	紐とけば堺	胡服体験 (さかい利晶の杜で)	令和 6 年 3/23 (土) 3/24 (日)	34	69	103

### 3 さかいミュージアム・パス&スタンプラリー2023

実施期間：7月21日(金)～8月31日(木)

市内の博物館等文化施設の集客促進と活性化を目的とした夏休み期間中の事業。平成26年度から実施。堺市内在住・在学の小・中学校の児童・生徒及び堺市在住の未就学児を対象に、当事業参加館の入館料を子ども1名とともに保護者1名も無料とするミュージアム・パスを発行する。また、当事業参加館を巡るスタンプラリーも併せて実施。集めたスタンプの数に合わせて記念品等を贈呈。

- ・参加施設(合計7施設)：堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、さかい利晶の杜、百舌鳥古墳群ビジターセンター、堺 アルフォンス・ミュシャ館、堺伝匠館、シマノ自転車博物館。(※令和5年度はリニューアル工事のため、毎年参加してきた堺市立町家歴史館 山口家住宅・清学院は参加せず)
- ・7館への入館者数：小学校児童 3363人 中学校生徒 158人 未就学児 721人 保護者 3109人
- ・缶バッジ(4館へ入館)410個(500個限定) 記念品(7館全てに入館)295個(300個限定) 贈呈

### 4 連続講座「博物館で堺学！堺の中世をひもとく」

共同研究「中世界における歴史文化に関する学際的研究会」の実施にともない、研究成果の市民還元を視野にいれて実施。

9月18日(月・祝) 参加者：70人

考古編①「堺環濠都市遺跡の発掘調査最前線」(講師：近藤康司・文化財課学芸員)

考古編②「考古学からみた琉球・那覇と中世界」(講師：瀬戸哲也氏・(公財)元興寺文化財研究所)

10月14日(土) 参加者：45人

文献編①「中世界に生きた人々『蔗軒日録』を読み解くー」(講師：矢内一磨・当館学芸員)

文献編②「中世界の時宗寺院ー新収蔵の引接寺関係資料からー」(講師：渋谷一成・当館学芸員)

### 5 堺自由の泉大学「堺歴史探訪・考古学」講座(堺市立男女共同参画センター内)

博物館学芸員と文化財課学芸員で分担して1講座(2時間)15回分を担当。受講者数15人。当館学芸員担当分は以下のとおり。

7月20日：企画展「親子でたのしむミュージアム」/9月7日：中世都市堺の記録をよむ/

10月5日：企画展「河口慧海 仏教探究の旅」/11月2日：江戸中期の堺の生活と文化/

12月7日：企画展「生誕150年与謝野鉄幹」/2月1日：芝辻理右衛門家文書をよむ/

令和6年2月15日：陶邑窯跡群について/3月7日：親鸞と蓮如

## 6 博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者のための事業で今年度は8月1日(火)～8月5日(土)実施。各大学を通じて毎年5月に募集し無料で受け入れる。博物館の事業に関する講義及び考古・美術・歴史・民俗の各分野の資料の取り扱い実習、展示場等施設見学、広報物発送準備、体験学習補助等を実施。

受入大学：近畿大学、関西学院大学、皇學館大学、大阪成蹊大学、帝塚山学院大学、龍谷大学、京都美術工芸大学、奈良大学、京都外国語大学、筑波大学、以上10大学、15人

## 7 大学・大学院インターンシップ

各大学からの依頼を受け、7月～9月の5日間実施。普及事業および歴史資料整理の補助等に従事。

受入大学：大阪教育大学（教育コラボレーション演習）5人、関西大学（関西大学博物館）3人、関西大学大学院（人材育成プロジェクト）2人、以上2大学、10人

## 8 「日本と世界が出会うまち・堺 2023」プロジェクト

高校生・中学生を対象に、堺の国際交流の歴史等を研究発表してもらおう取組。平成25年度より実施。

主催：堺市博物館、大阪大学歴史教育研究会／協力：「日本と世界が出会うまち・堺」プロジェクト研究会、高大連携歴史教育研究会、堺ユネスコ協会、NPO法人堺なんや衆

研究発表日：11月19日(日)

会場：大阪大学南部陽一郎ホール（Zoom 配信あり）

会場参加者=104人、Zoom参加者=20人

参加校：

〔中学校〕雲雀丘学園中学校、帝塚山学院中学校（2グループ）、関西大学中等部

〔高校〕金蘭千里高等学校、関西大学高等部、帝塚山学院高等学校、大阪府立高津高等学校、桃山学院高等学校、大阪緑涼高等学校

## 9 さかいっこ・歴史倶楽部～堺の歴史・文化を体感しよう！～

堺の歴史を深く知りたい児童に対して、5回の講座・体験メニューを実施。

対象：堺市内在住・在学の小学4～6年生の児童 ※全5回参加できる人のみ。

活動：7月15日(土)講座「堺の歴史を知ろう」／8月19日(土)体験「本物の埴輪を観察&拓本しおりを作ろう」／9月9日(土)講座「古墳について知ろう」・解説文案作り／10月7日(土)フィールドワーク「百舌鳥古墳群をめぐろう」・解説文案作り／11月11日(土)解説文案相談日（自由参加）／11月18日(土)仁徳天皇陵古墳拜所で解説（雨天時は博物館内で解説）

参加者=7人（4年生：2人、5年生：1人、6年生：2人）

## 10 職場体験学習「堺市博物館で職場体験をしてみよう」

歴史や博物館に興味を持つ中学生に対して、2日間博物館の仕事を体験してもらう事業。

対象：堺市内在住の中学生

活動：連続する2日間で2回実施（①7月27・28日／②8月16・17日）。民俗資料の調査・解説づくり・展示・口頭での解説等。

参加者=①5人（中1=2人、中2=3人）／②4人（中1=3人、中2=1人）

## 11 中堅教諭等資質向上研修（社会体験研修）

勤務年数約 10 年の教諭を対象に行う研修。当館教員 OB 職員が中心となり実施した。

7 月 26 日（水）、27 日（木）、28 日（金）、8 月 3 日（木） 参加者=24 人

開館準備、シアター視聴後に受付手伝い、展示場見学、学芸員の講話、館内空調について（講義）、展示解説説明、展示解説実地、体験学習会に向けて準備作業などを通して、博物館業務に関する研修を行った。

## 12 古文書講習会

近世・近代の古文書を素材に堺市域に関する史料を読み、地域の歴史について理解を深めてもらう。2 日間通しで募集・実施。

開催日：令和 6 年 3 月 30 日・31 日 各日 4 コマ実施。

講 師：島田克彦氏（桃山学院大学教授）、当館学芸員 3 人

参加者：1 日目=43 人、2 日目=40 人

## 13 オンラインミュージアム

### (1) 当館公式 YouTube チャンネル

博物館の展示を自宅などでいつでも観られるように、動画で紹介。令和 5 年度作成は以下のとおり

- ・連続講座「博物館で堺学！堺の中世をひもとく」（9 月 18 日、10 月 14 日開催分）

当市学芸員担当分の講座の様子を 10 月 30 日～11 月 30 日まで限定で公開。

- ・企画展「河口慧海 仏教探究の旅ーチベットで求めたものー」講演会（講師：奥山直司氏）

定員を大きく超える聴講希望者に対応するため、講演当日の様子を 11 月 20 日～12 月 20 日に限定で公開。

- ・企画展「堺のくらしと風景」体験プログラム

来館予定の学校向けに限定配信（対象校に動画 URL 送信）。事前学習に活用してもらった。

※上記の他に、当館公式 YouTube チャンネルには以下の既存コンテンツがある。

#### ① 堺市博物館紹介

#### ② 館藏品 館長セレクション

第 1 回重要文化財・旧浄土寺九重塔、第 2 回大阪府指定文化財・慶長大火縄銃、第 3 回大塚山古墳出土のよろい、第 4 回堺市指定文化財住吉祭礼図屏風、第 5 回堺緞通の大型織機、第 6 回重要文化財・観音菩薩立像

#### ③ 企画展・特別展

企画展「詩書画に遊ぶ」、企画展「堺敷物ものがたり」

#### ④ わくわく！体験学習

「勾玉を作ろう！」、「はにわを作ろう」

### (2) Google アーツ&カルチャー

Google が提供する『Google Arts & Culture』において、所蔵の絵画資料 77 点の画像を解説文とともに 4 つの展示ストーリーで公開。(1)源氏物語を見る一土佐光吉とその工房による源氏絵、(2)商都・堺の富と祭りー住吉祭礼図屏風、(3)400 年前の京都を散歩ー洛中洛外図屏風、(4)貫名海屋ー後半生の絵画作品一。言語は日本語と英語に対応。令和 3 年 4 月 20 日から運用開始。

## 14 学校団体受入

令和5年度 学校来館数(延べ) 一覧(単位:校)

	小学校	中学校	高校
来館数	95	6	8
うち市外の学校	41	5	7

※参考:堺市立の小学校94校、支援学校2校、中学校43校、高校1校

令和5年度 児童・生徒・教員等来館者人数(延べ) 一覧(単位:人)

小学生	中学生	高校生	引率者	合計
9,820	1,011	364	1,130	12,325

## 15 博物館ボランティア

個人で応募後、所定の研修を経て博物館ボランティアとして登録したメンバーにより活動している。令和6年4月1日現在80人。来館者に対して「常設展示」の解説をおこなう展示解説ボランティア、体験学習会や、学校園等の団体観覧をサポートする体験学習等ボランティアが活動している。年間10回程度のボランティア向け研修会と、年1回の意見交換会を実施。令和5年度研修会は、企画展解説会、堺環濠都市遺跡(南荘)ウォーキング等。平成17年から実施。

## 16 多言語音声ガイド

1台200円で貸し出し、4ヶ国語(日本語、英語、中国語、韓国語)に対応。展示場内に約30ヶ所のガイドポイントを設け、合計約30分で構成される。令和元年度に導入し現在50台運用中。

・令和5年度利用者数と言語別の割合

言語	日本語	英語	中国語	韓国語	合計
利用者(人)	374	112	49	21	556
割合(%)	67	20	9	4	100

※令和5年度観覧者数61,472人のうち0.9%が利用 令和3年度比161% 令和4年度比130%の利用

## 17 新ミュージアムグッズ作製

市内の障害福祉サービス事業所に委託のもと、授産活動の一環として今年度新たに作製した。

- ・木製・古墳マグネット(木製) 販売価格 200円
- ・古墳キーホルダー(さをり織製) 販売価格 600円
- ・古墳トートバッグ(さをり織ポケット付) 販売価格 1,000円

## 18 情報の点字化・音声化

堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センターの点字図書館に依頼し、各種情報の点字化・音声化を行っている。令和5年度は当館発行のチラシ情報のテキスト化・音声化などを行い、点字図書館および当館ホームページ上に公開した。また当館ミュージアムショップで販売しているグッズリストの点字化を行い、ショップ受付に備え付けているほか、点字図書館、堺市立中央図書館に納本している。

## 19 外部団体主催講演会等への講師派遣

以下の主催者（計 31 箇所）から依頼を受け、学芸員を講師として派遣した。

羽衣国際大学、関西大学文学部、大阪大谷大学文学部、関西大学博物館、弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館、大阪歴史博物館、広島県立歴史博物館、外務省、第 10 回世界遺産サミット in 斑鳩実行委員会、シニア CITY カレッジ、シニア自然大学、大阪府民カレッジ、芦屋市民センター・公民館、住吉大社、YouTube 河江肖剰の古代エジプト、泉州慶應倶楽部、日本武尊を仰ぐ会、堺事件を語り継ぐ会、近畿文化会、十四大都市医師会連絡協議会、堺経営者協会、前橋鈴木貫太郎顕彰会、堺市文化課、堺市立みはら歴史博物館、堺アルフォンス・ミュシャ館、堺市立大仙小学校、堺観光ボランティア協会、堺ライオンズクラブ、開口神社、SAKAI 縁プロジェクト

## 20 広報事業

各企画展・セミナー等では堺市広報課を通じて報道提供を行い、チラシ配架、ポスター掲示、関係機関への送付、広報さかい（毎月 1 回発行、全世帯・全事業所配布）へ掲載している。また全ての事業において、当館ホームページに掲載し、毎月 4～5 回は各テーマで当館公式 Facebook に投稿している。その他、広報課 SNS（Twitter・Facebook・LINE）も活用している。その他の事業は以下のとおり。

### (1) 令和 5 年度有料広告掲出

各企画展にあわせて新聞広告等を 7 回実施。

### (2) 外部発信（無料）

- ① 堺観光コンベンション協会 デジタルサイネージ（堺東）・ホームページ・インスタグラム
- ② 大阪観光局 デジタルサイネージ（大阪・新大阪・難波観光案内所）
- ③ その他（日本博物館協会「博物館研究」、イベントバンク、南海電鉄月刊情報誌『Natts』など）

### (3) 博物館・美術館における広告に関する調査

質問項目を示した調査票を近隣館に送り、各館の状況を調査した。

調査対象：展示面積が当館と同規模以上の大阪府内博物館・美術館 13 館

## 21 報道対応

報道機関からの取材に対して、展示担当・各分野の学芸員が対応。

合計 34 件（10 件）内訳：テレビ 13 件（6 件）、新聞 21 件（4 件）※（ ）内は利晶の杜関係

## 22 博物館来館者アンケート

アンケート用紙を企画展の出口に設置し、毎月集計して館の運営の参考になっている。令和 5 年度の回収数は 218 件。展示の感想：「良い」89%、「ふつう」11%。

## 23 研究活動

- (1) 『堺市博物館研究報告』を作成（毎年 3 月発行）
- (2) 共同研究「中世界における歴史文化に関する学際的研究会」（令和 5 年度～7 年度）
- (3) 堺市博物館と与謝野晶子倶楽部による共同調査研究、研究報告書の刊行
- (4) 各学芸員の調査研究活動（企画展準備、資料受入に伴う調査、市内文化財の調査等）

24 ミュージアムキャラクターアワード2023へエントリー（当館公式キャラクター・サカイクン）

本事業は全国のミュージアムキャラクター日本一を決めるもので、アイエム[インターネットミュージアム]（丹青社グループが運営するインターネットサイト）が2010年より実施。令和5年度は当館公式キャラクター・サカイクンが、生誕10周年に当たることから、今回2度目のエントリー。結果は58エントリー中11位、3955票獲得。前回の参加は、サカイクンを堺市出身の藪内佐斗司氏が制作し、当館公式キャラクターとなった年の2014（平成26）年で、39エントリー中4位、5563票獲得。

## ■ 国際機関との連携事業

### 1 事業の目的

アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）との連携事業を通じ、多文化共生社会の実現に資することを目的とする。また、歴史的につながりの深いアジアをはじめとする国々との文化交流を促進し、地域の活性化に繋げることを目的とする。

### 2 事業内容

IRCI や国立民族学博物館などの研究機関と連携し、企画展示、無形文化遺産理解セミナー、ワークショップを実施した。また、ユネスコ、日本の無形文化遺産に関する取組や本市の事業を紹介するパネル、リーフレットの作成を行った。

## 1 無形文化遺産理解事業

### (1) 「アジアの伝統的織物とその工芸技術」

展示、セミナー、ワークショップを通じて、中国・韓国・日本を中心にユネスコ無形文化遺産に登録された、衣に関わる織物の工芸技術を取り上げて、多様なアジアの伝統的織物とその工芸技術の継承の一端を紹介。

#### ① 展示：無形文化遺産シリーズ展「アジアの伝統的織物—中国・韓国・日本を中心に—」

会期：9月5日（火）～10月1日（日）

特別協力：国立民族学博物館／協力：中国手藝網（中国）、海南省非物質文化遺産保護センター、駐大阪韓国文化院、崔良淑氏（からむし工房）、小千谷市教育委員会、結城市教育委員会、南魚沼市教育委員会、越後上布・小千谷縮布技術保存協会

#### ② セミナー「雅やかな韓国の伝統織物「韓山モシ」

9月23日（土・祝）講師：林 在圭氏（静岡文化芸術大学教授） 参加者=40人

#### ③ ワークショップ「モシ・モビールを作しましょう」

9月23日（土・祝）セミナー後 講師：からむし工房 塩尻 俊子氏、李 仁子氏 参加者=22人

#### ④ ワークショップ「ミニ緞通を織ってみよう」

9月30日（土）講師：堺式手織緞通技術保存協会、当館学芸員 参加者=12人

### (2) 身近な無形文化遺産発信：地元堺の無形文化遺産現状、その保存や継承などを紹介

#### ① ワークショップ「注染で手拭いを染めましょう」8月26日（土）

講師：堺注染和晒興業会理事長 北山雅啓氏（日本伝統工芸士）ほか 参加者=47人

#### ② 「堺緞通の製織実演」3月6日、13日、20日、27日（3月の毎週水曜日）

常設展示している堺緞通の大型織機を稼働させて、製織実演を行っている。

実演者：堺式手織緞通技術保存協会会員 観覧者=340人

## 2 無形文化遺産普及事業（IRCI・堺市）

### (1) パネル展示「コロナ禍を乗り越えたアジア太平洋地域の無形文化遺産」

会期：11月7日（火）～令和6年3月31日（日）

会場：当館文化遺産展示室

IRCI がパネル・チラシの作成と展示を担当、当館が広報を担当。IRCI が令和 4 年度に発行した英文の報告書の成果をもとにしたパネル展示。

- (2) セミナー「コロナ禍のお祭りを考えるー東京都台東区浅草・三社祭を事例としてー」12月17日（日）  
講師：三隅貴史氏（関西学院大学社会学部特別任用助教） 参加者=36人  
IRCI が講師の招聘・チラシの作成を担当。当館が広報・セミナー運営などを担当。
  
- (3) パネル展示「もっと知ろう～ユネスコ無形文化遺産とその保護」・報告書の作成  
展示場内の文化遺産展示室では、ユネスコが推進している無形文化遺産保護条約の仕組みや具体的な事例、日本、堺市及びIRCIの取組みについて、パネル展示をしている。なお、常設展示のパネル内容は最新の情報に随時更新。また毎年1回、堺市の無形文化遺産普及事業に関する報告書を日本語・英語併記で発行している。